

CONTENTS

- 町の掲示板 2
- 町の話 10
- know「農」 12
- カルチャー 13
- 町の情報ひろば 14
- 素敵人 16
- こうげマンが行く! 16



町の花(春)桜

町の花(秋)コスモス

町の木 梅

●編集発行／上毛町役場企画情報課
●印刷／第印刷株式会社
〒871-0902
福岡県築上郡上毛町大字垂水1-32-1
TEL 0979-723-3111
FAX 0979-723-4664

人の動き

10月31日現在

| | |
|------|------------|
| ●人口 | 8,093 (+2) |
| ●男性 | 3,831 (+4) |
| ●女性 | 4,262 (-2) |
| ●世帯数 | 3,125 (+3) |

うち外国人

| | |
|------|--------|
| ●人口 | 25(+1) |
| ●男性 | 22(+1) |
| ●女性 | 3(±0) |
| ●世帯数 | 24(+1) |

(うち混合世帯3)

参考

平成17年10月11日合併時

| | |
|------|-------|
| ●人口 | 8,499 |
| ●世帯数 | 3,057 |

まちの環境を地域で守る

「地域ぐるみの環境保全活動」に積極的に取り組んでいるお二人を紹介します。



ボランティア あすなろ会 会長 東 一成さん



大ノ瀬・ハツ並子供会 濱田 優子さん

ごみをなくしてきれいなまちに...

あすなろ会は昭和60年10月に発足し、活動を開始してから今年で27年になります。現在の会員数は40名で、活動としては年に3回の文集「あすなろ」の発刊や各種福祉活動、環境美化活動を行っています。

元々地元に対する愛情が深い会員が集まっていたということもあり、「遠くから訪れた方にきれいなまちをみてもらいたい」という想いを強く持っていましたので、平成13年から大池公園周辺の清掃活動をはじめました。

清掃活動を始めた当初は一日では拾いきれないほどのごみが捨てられており、大変苦労しましたが、その頃に比べると最近では捨てられているごみ自体が減ってきたように思います。当時はまだ私たちのように清掃活動をする団体はそんなにいませんでしたが、ポイ捨てや不法投棄を許さないという風潮が強くなり、最近では清掃活動を行う団体等も増えてきたように感じます。

さらに、清掃活動を経験した人にはごみを捨てない、捨てさせないという意識が生まれますので、それが地域に伝わり、いい方向にあらわれているのかもしれない。

しかし、まだまだポイ捨てや不法投棄がなくなったわけではありません。これからも清掃活動とおして上毛町のきれいな環境を守るとともに、地域の方々に喜ばれるような活動を続けていきたいと思っています。

子ども会活動の一環として

地区の古紙(古新聞・古雑誌など)の集団回収を子ども会育成会で行っています。

子どもたちが中心になって地区の各家庭をまわり、古紙を回収しているのですが、高齢の方の中には町の収集に古紙を出すのが難しい方もおり、そんな中、家まで回収に行く集団回収は地域にも貢献できている活動ではないかと思えます。

また、子どもたちのために古紙をためてくれる方、純粋に子どもたちが来るのを楽しみに待っていてくれる方など、多くの地域の支えがあり活動はとても良い雰囲気です。約1,000kgの古紙を集めるので、終わると子どもたちにも疲れが見えますが、同時に充実感、達成感も覚えているように感じます。

この活動の目的は子どもたちにリサイクルや環境のことを考えてもらうというのですが、子どもたちにとっては地域の方々との交流ができる機会、低学年、高学年がひとつのことに協力してがんばる機会にもなっており、子ども会の活動としてすごくいいものになっていると感じています。

これからも古紙の集団回収やその他、地域に貢献できる活動をすることで、地域から愛される子ども会になりたいと思います。



特集 分別収集の必要性

資源循環型の社会づくりでまちの未来を守る

12月の表紙

西吉富小学校4年生

ごみの発生抑制・リサイクル促進による循環型社会の形成や、水・土・大気の保全など、環境保全意識の向上を目的に、環境に関するポスターと標語を小学4～6年生、中学生を対象に募集しています。入選作品については広報誌やげんきの杜ロビーに掲載しています。

ごみの量

10月31日現在

- 可燃ごみ 140.07t (+16.96t)
- カン・ペットボトル 3.06t (-0.91t)
- びん 4.20t (-1.01t)
- 古紙他 16.17t (+1.44t)
- 可燃粗大 3.23t (-1.48t)
- 不燃 7.47t (-2.02t)
- プラスチック製容器包装 1.64t (-0.56t)
- 紙パック、白色トレイ 0.07t (+0.01t)

※()内は前月増減

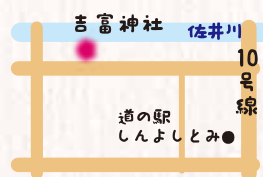
こうげマンが行く!

吉富神社

今月の訪問地 成恒

イラスト/絵本製作委員会 東みどりさん

こうげマンは成恒地区にある吉富神社に行ってきたよ。神社の建っている場所には昔、成恒氏が治めた成恒城があったんだって。神社本殿北側には「蓮根堀」と呼ばれる堀が長さ約50m程残っているんだよ。その後、文治3年の元旦に神託により緒方城主、緒方氏が社殿を開いたんだって。



10月21日(日)、成恒神楽保存会による神楽の奉納があったよ。成恒神楽は明治時代中頃に始まり、一時中断もあったけど、昭和58年に成恒神楽保存会として発足したそうだよ。演目は式神楽十二番と奉納神楽併せて三十三番もあるんだよ。当日は成恒壮年会の皆さんによる屋台もあり多くの見学者で賑わっていたよ。

10月30日(火)、吉富神社で「神宮大麻頒布始祭」が行われたんだよ。式には近隣の神主さんや神社総代の皆さんが参加し、祭事を務めた磯貝さんの祝詞や、笛や太鼓、鐘の音の中、それぞれの総代さんに神宮大麻が配布されていたよ。神宮大麻とは三重県に鎮座する伊勢神宮のお札のことで、人々が健康で幸福な一年を過ごせるよう祈りが込められているんだよ。神宮大麻はこの後家庭に配られて神棚に納められるんだね。



中津市三光にも成恒という地名があるんだけど、南北朝期の動乱期に活躍した成恒氏が居住したので同じ地名が残ってるそうだよ。

